

国内・海外・金融経済データ

1. 国内経済指標

【ご注意】

本資料は情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。投資判断の決定につきましては、お客様ご自身の判断でなされますようお願いいたします。

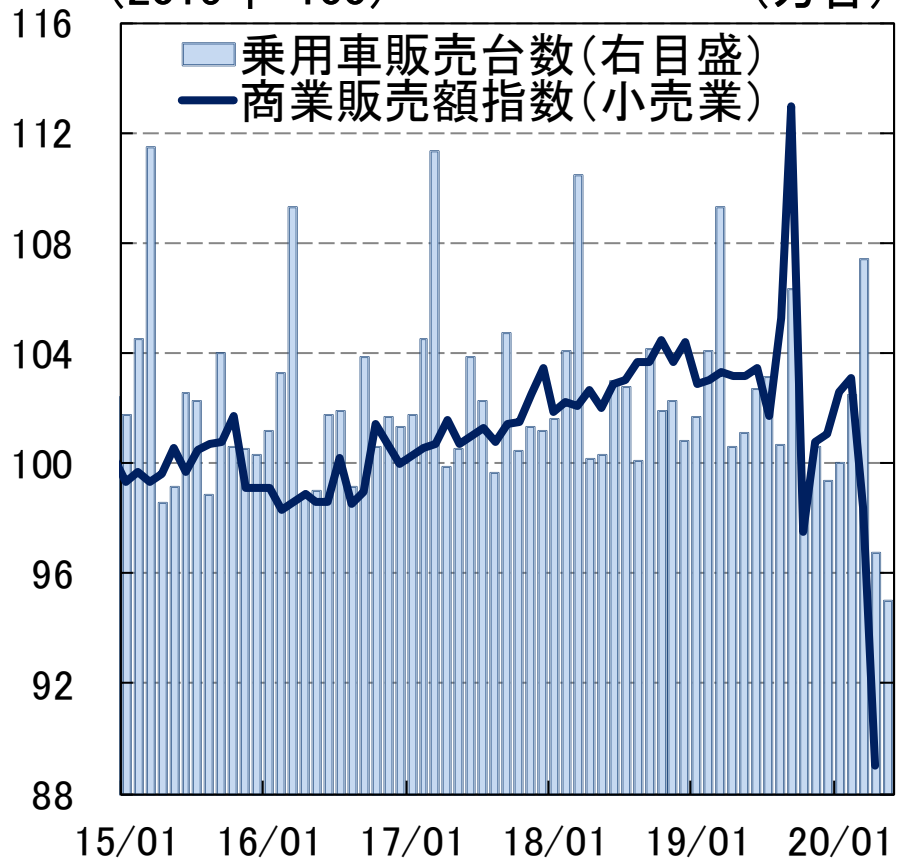
また、文中の情報は信頼できるとされる各種データに基づいて作成しておりますが、商工中金はその完全性・正確性を保証するものではありません。

※2020年6月10日時点のデータをもとに作成

個人消費は感染症の影響により急速な減少が続いている

商業販売額、乗用車販売台数

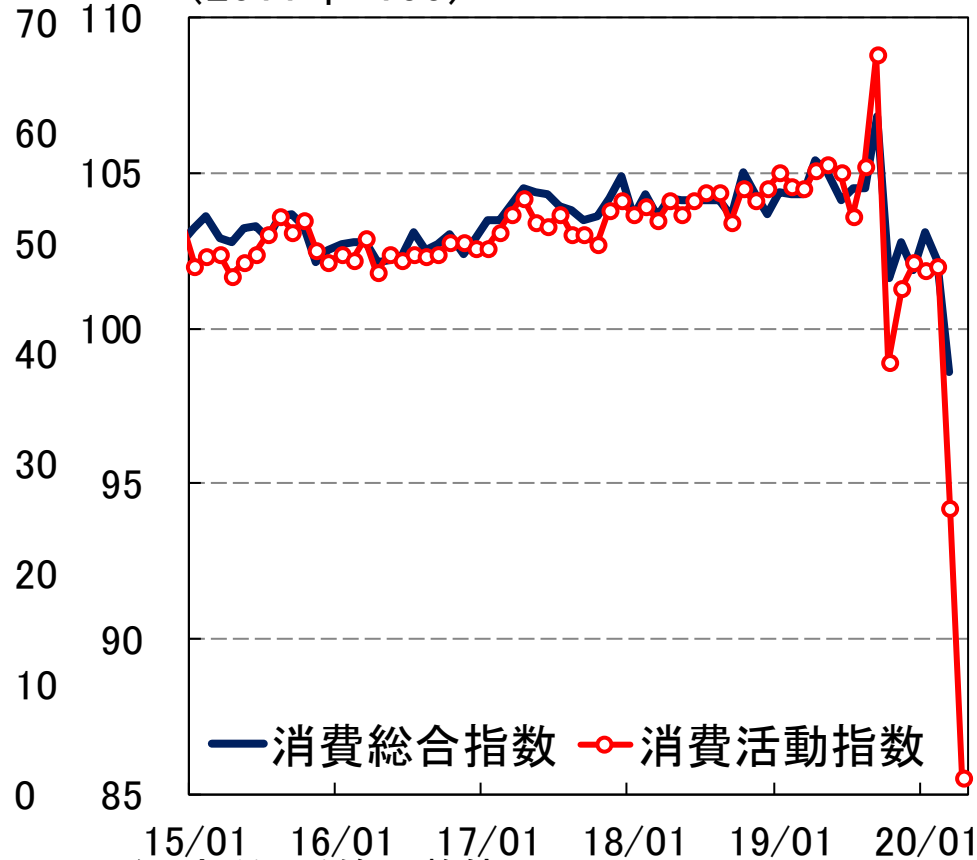
(2015年=100) (万台)



(注) 商業販売額指数は名目、季節調整値。
 (資料) 経済産業省「商業動態統計」、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

消費総合指数と消費活動指数

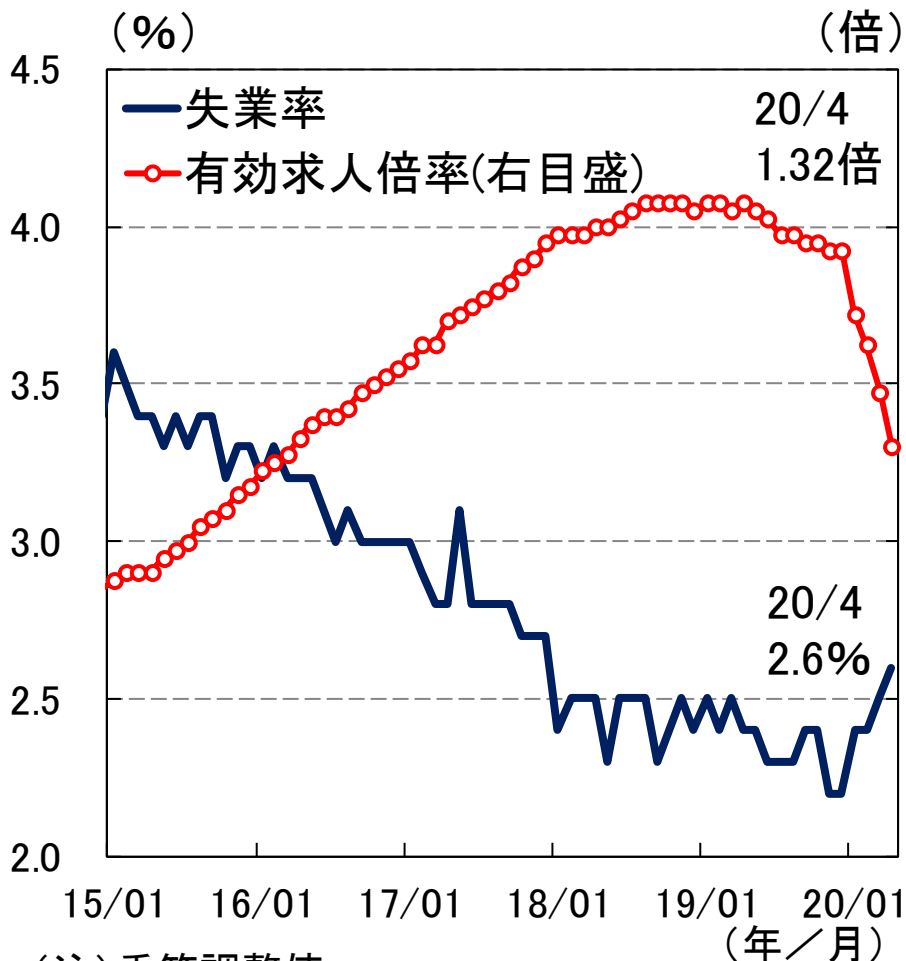
(2011年=100)



(注) 実質、季節調整値。
 消費活動指数は、旅行収支調整済。
 (資料) 内閣府「消費総合指数」、日本銀行「消費活動指数」

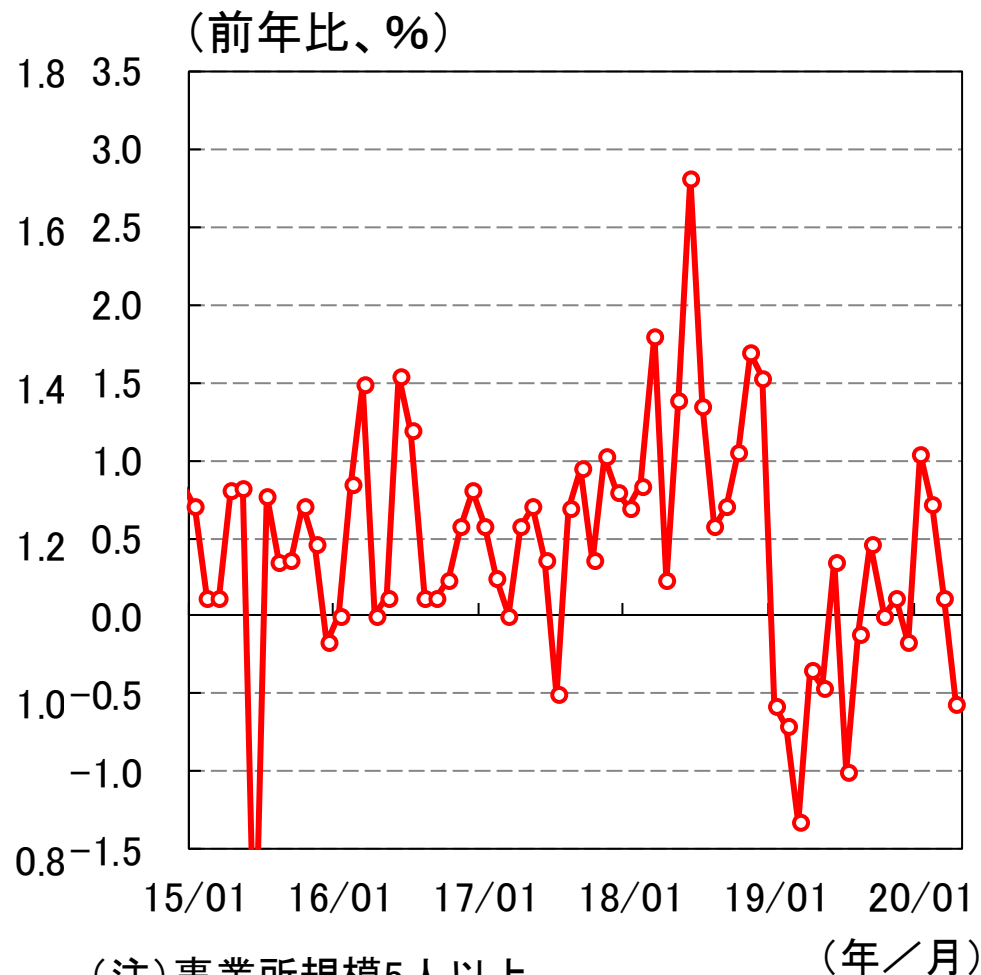
雇用環境・賃金ともに弱含んでいる

完全失業率と有効求人倍率



(注) 季節調整値。
 (資料) 総務省「労働力調査」、厚生労働省「一般職業紹介状況」

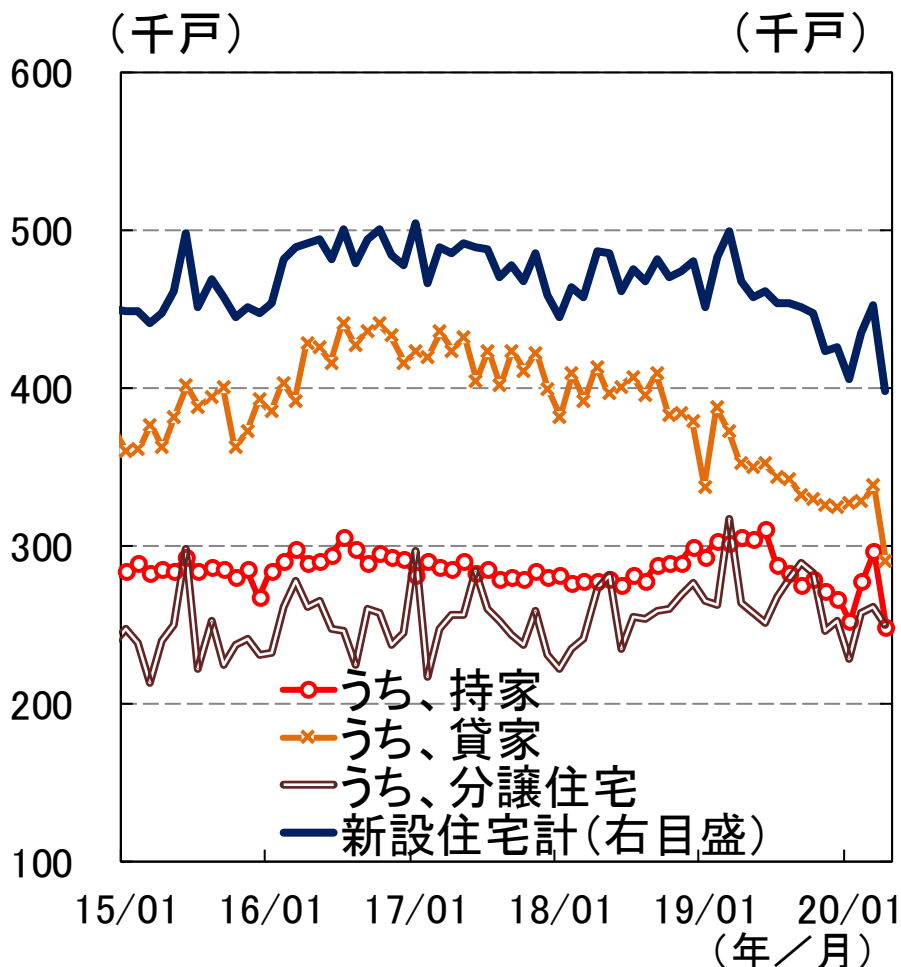
現金給与総額



(注) 事業所規模5人以上。
 (資料) 厚生労働省「毎月勤労統計」

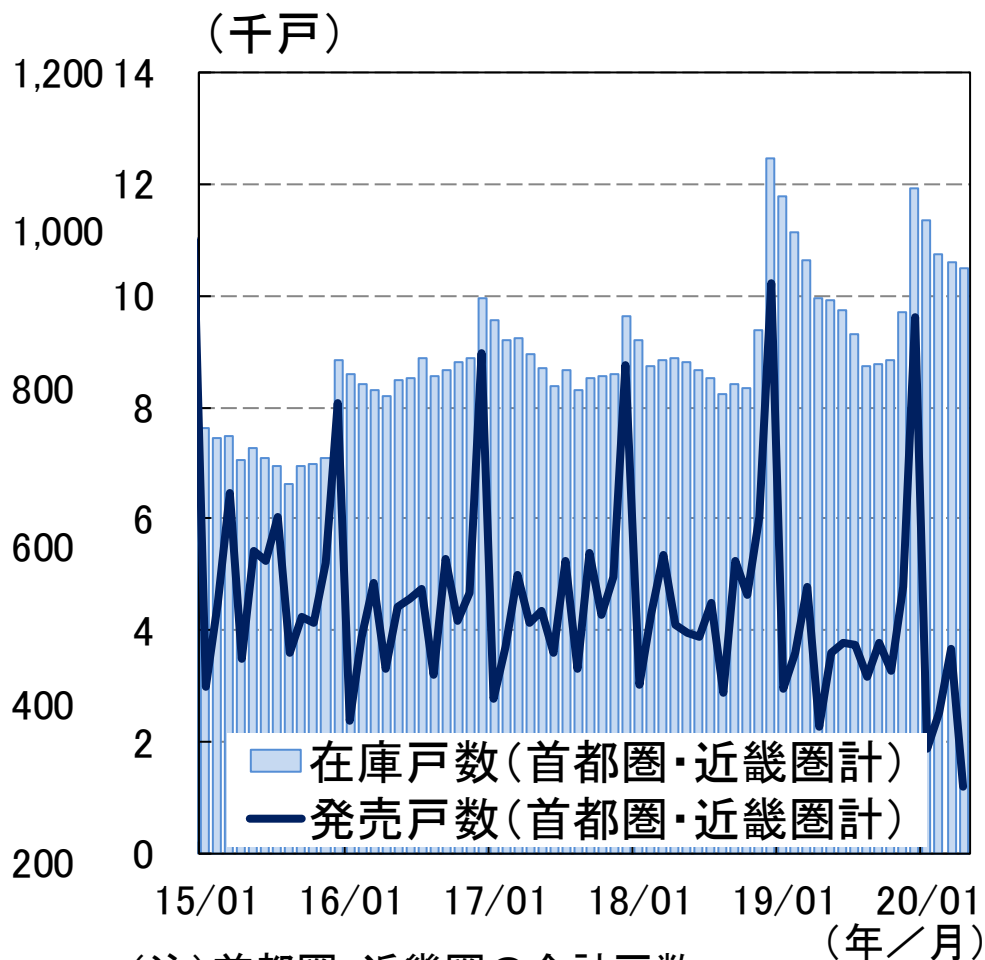
住宅投資は弱含んでおり、特にマンションの落ち込み顕著

新設住宅着工戸数



(注) 季節調整値の年率換算。
(資料) 国土交通省「建築着工統計」

マンション発売戸数と在庫戸数



(注) 首都圏・近畿圏の合計戸数。
(資料) 不動産経済研究所「首都圏、近畿圏のマンション市場動向」

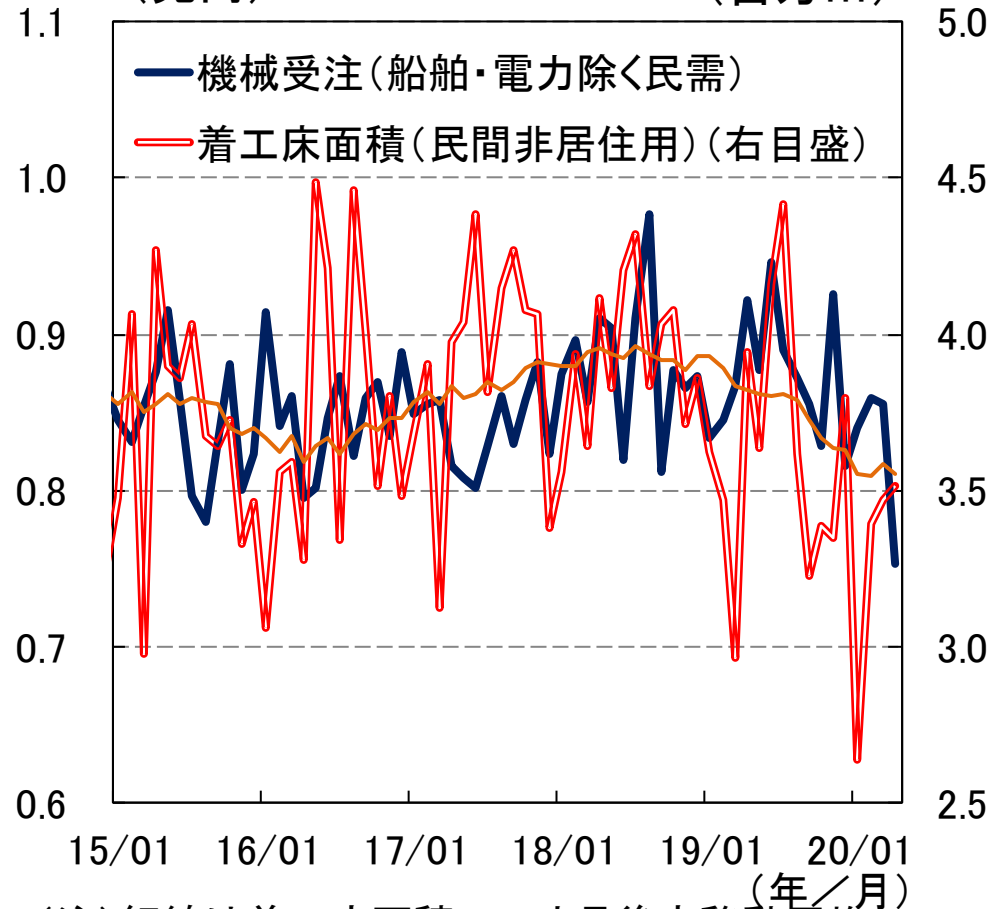
設備投資は弱含んでいる

資本財出荷指数(輸送機械工業を除く)
(2015年=100)



(注) 季節調整値。
(資料) 経済産業省「鉱工業指数統計」

機械受注額と建築物着工床面積
(兆円) (百万㎡)

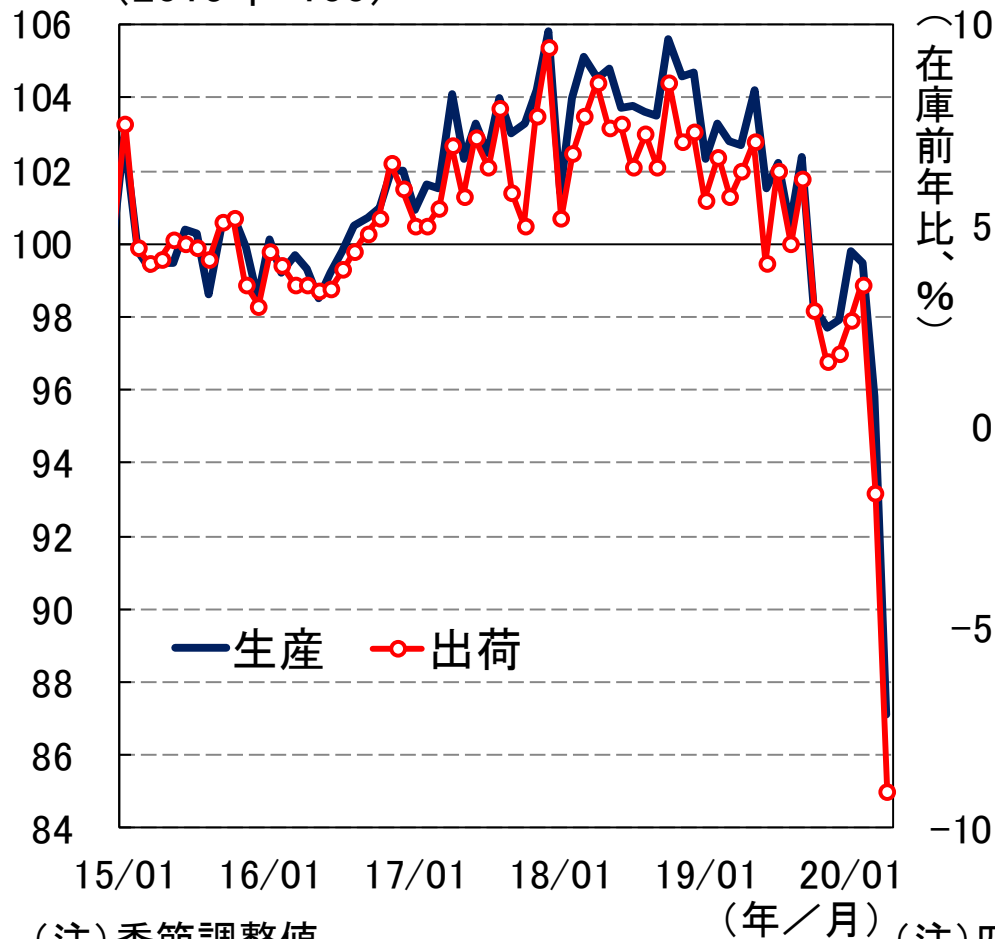


(注) 細線は着工床面積の12カ月後方移動平均。
(資料) 内閣府「機械受注統計」、国土交通省「建築着工統計」

生産は感染症の影響により、大幅に減少している

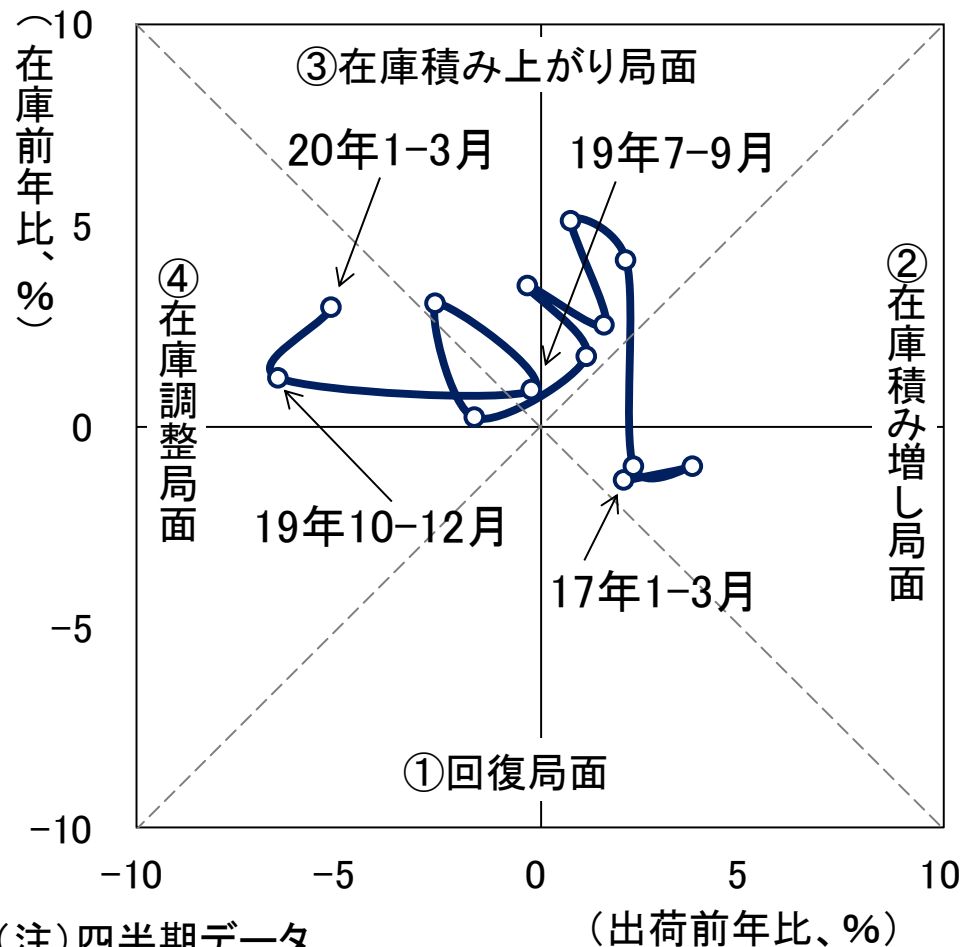
生産・出荷指数

(2015年=100)



(注) 季節調整値。
(資料) 経済産業省「鉱工業指数」

在庫循環図(鉱工業全体)

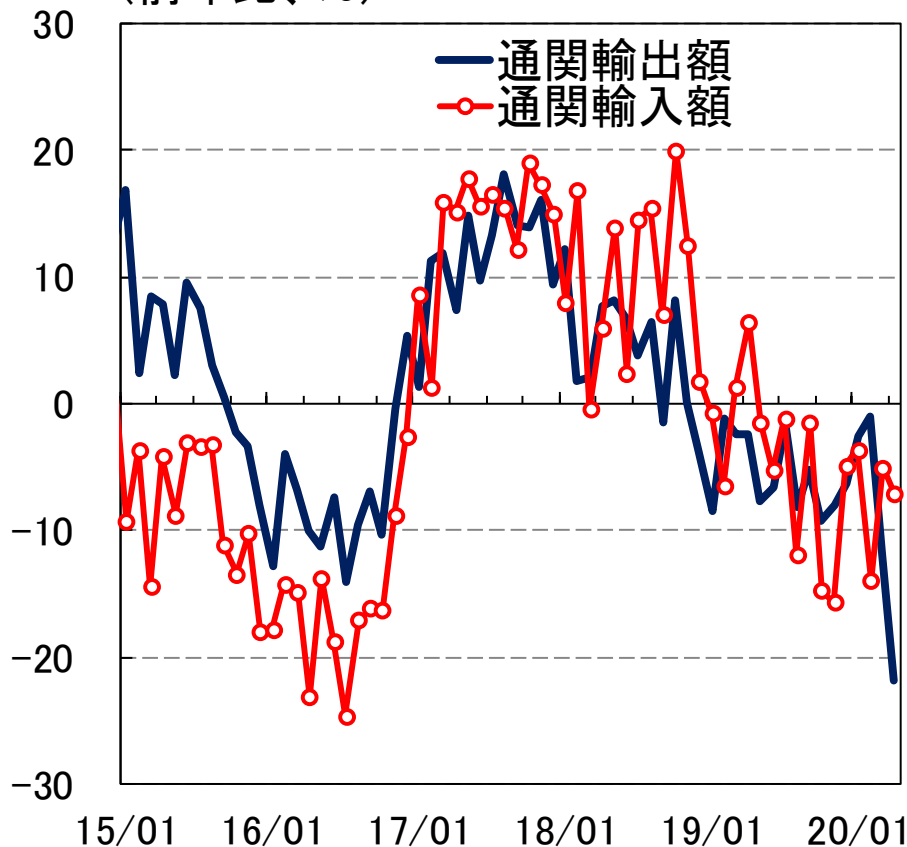


(注) 四半期データ。
(資料) 同左

輸出は感染症の影響により、大幅に減少している

輸出入額(名目)

(前年比、%)

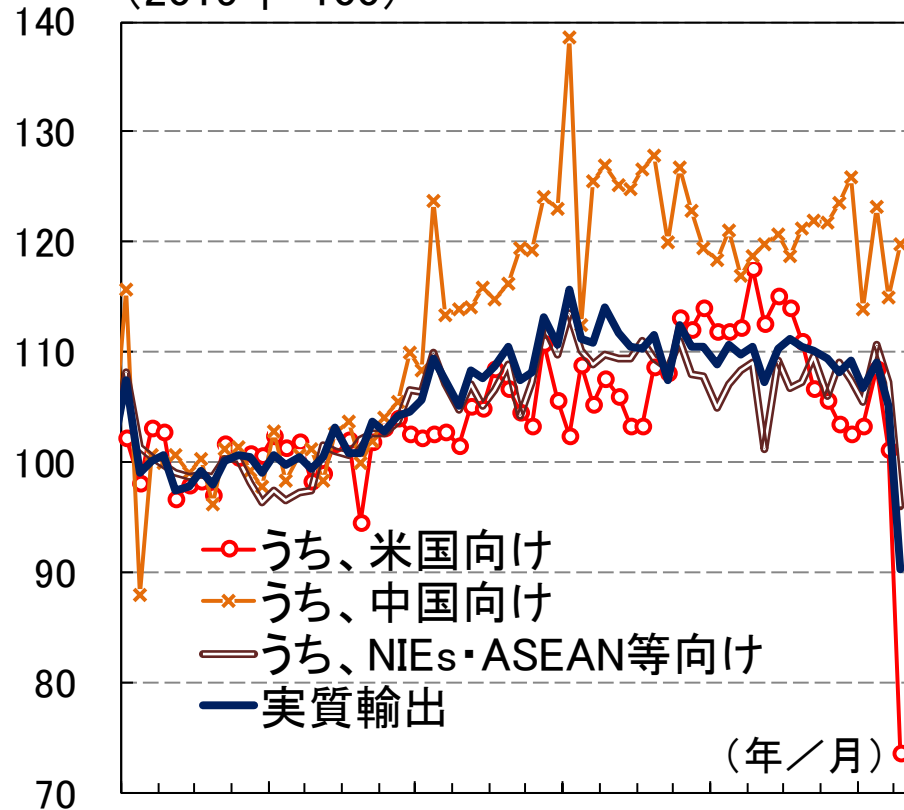


(資料)財務省「貿易統計」

(年/月)

実質輸出

(2015年=100)

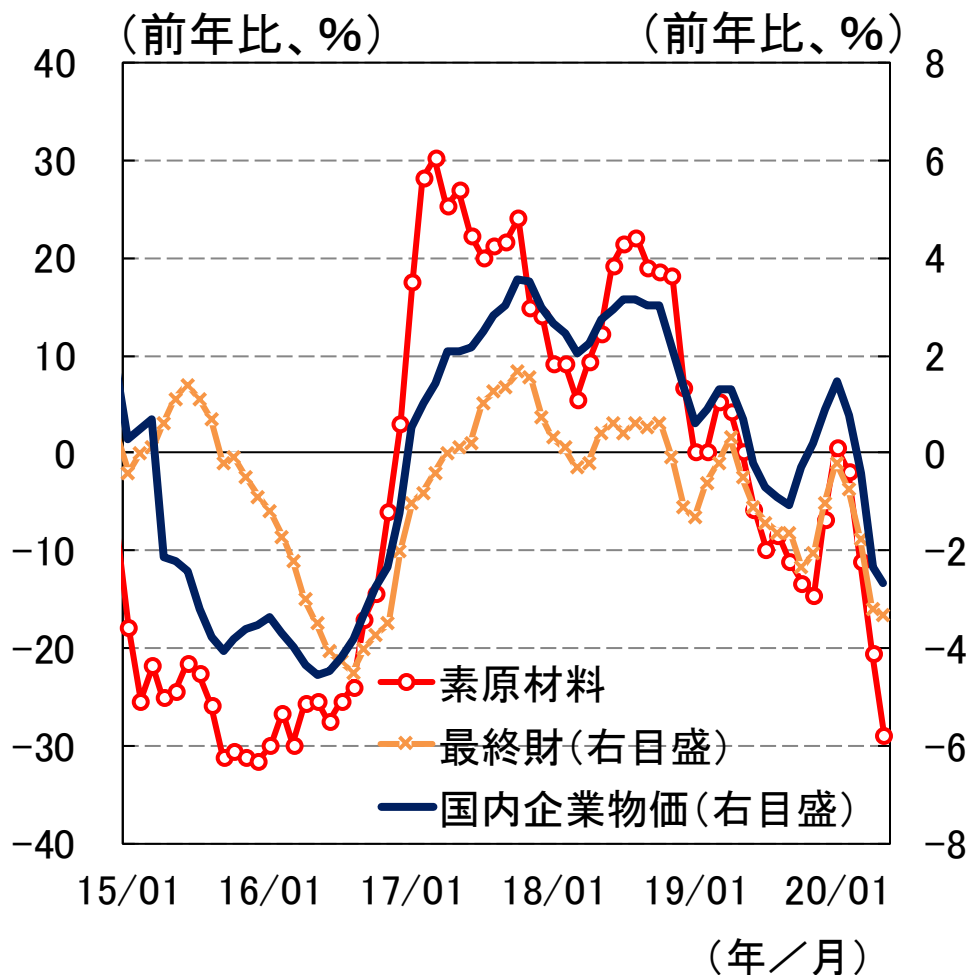


(年/月)

(注)実質、季節調整値。NIEs・ASEAN等向けは、インド・バングラデシュなどを含む。
(資料)日本銀行「実質輸出入の動向」

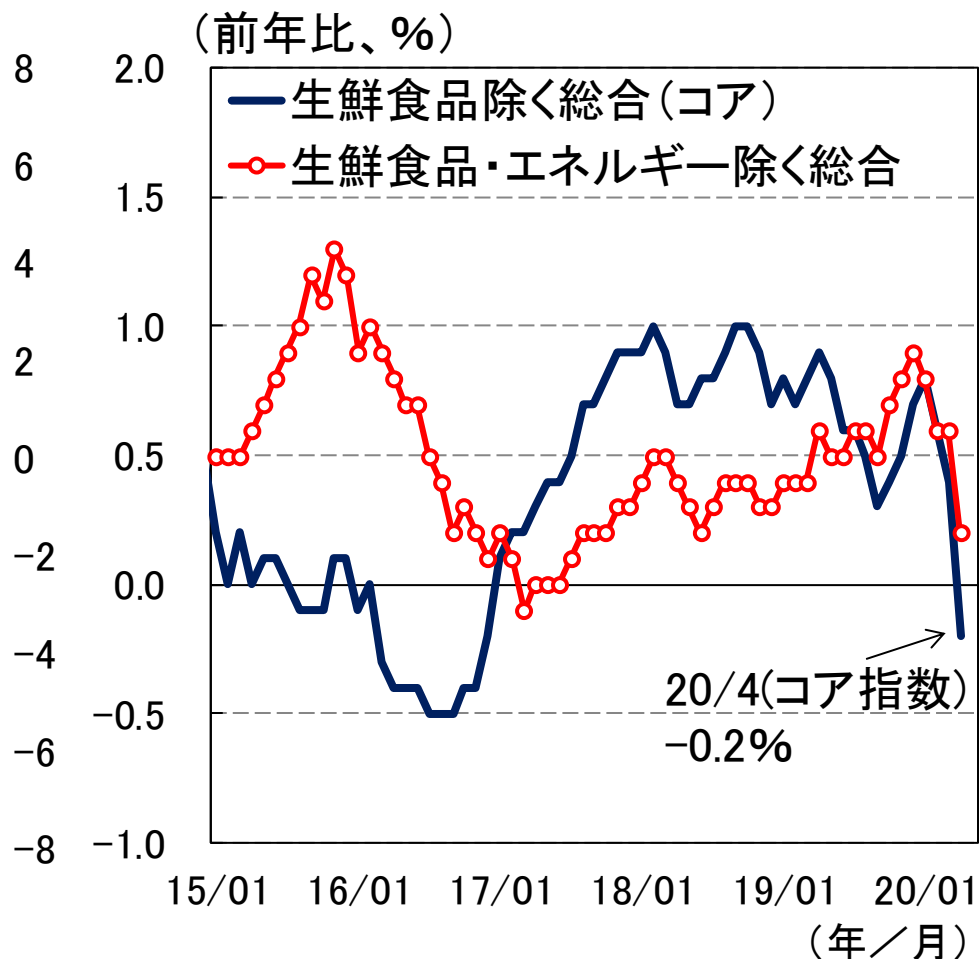
消費者物価（コア）は、再び前年比マイナス

企業物価指数



(注)素原材料、最終財は輸入品を含む。
(資料)日本銀行「企業物価指数」

消費者物価指数



(資料)総務省「消費者物価指数」、日本銀行



国内・海外・金融経済データ

2. 海外経済・金融関連データ

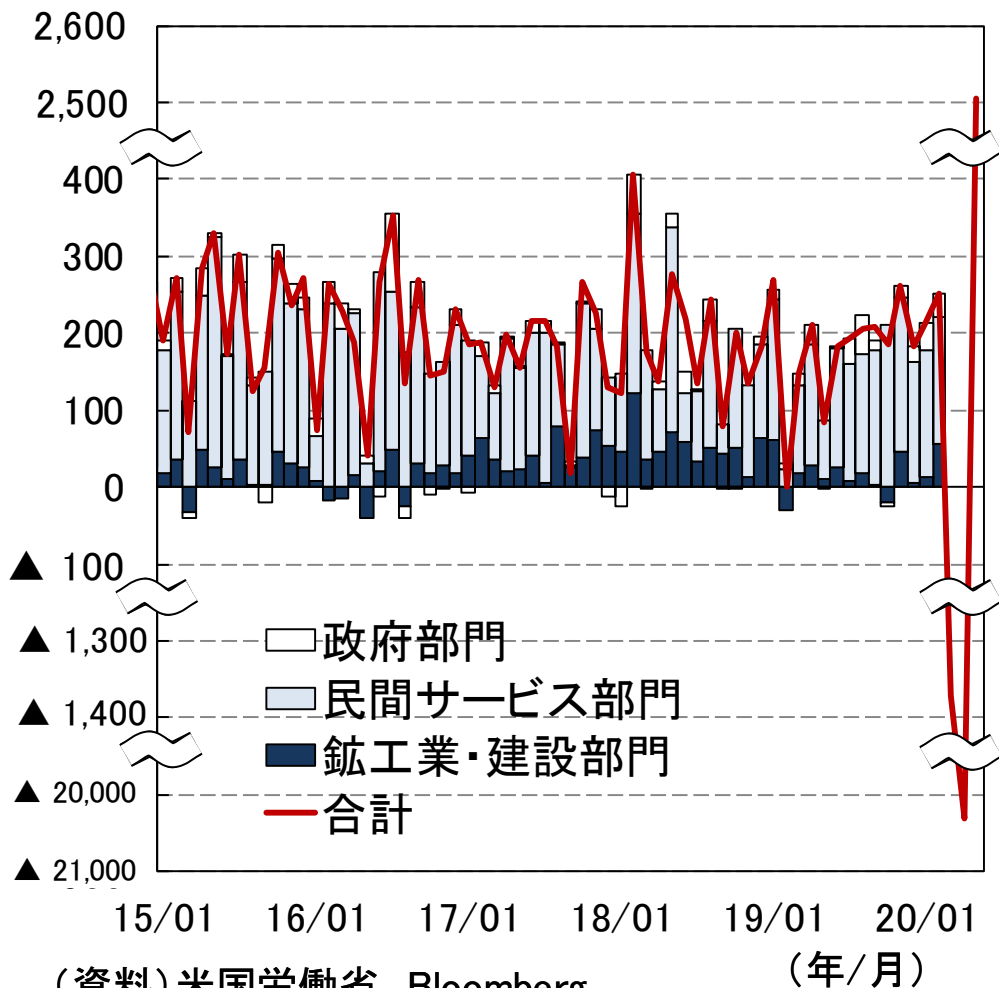
【ご注意】

本資料は情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。投資判断の決定につきましては、お客様ご自身の判断でなされますようお願いいたします。

また、文中の情報は信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、商工中金はその完全性・正確性を保証するものではありません。

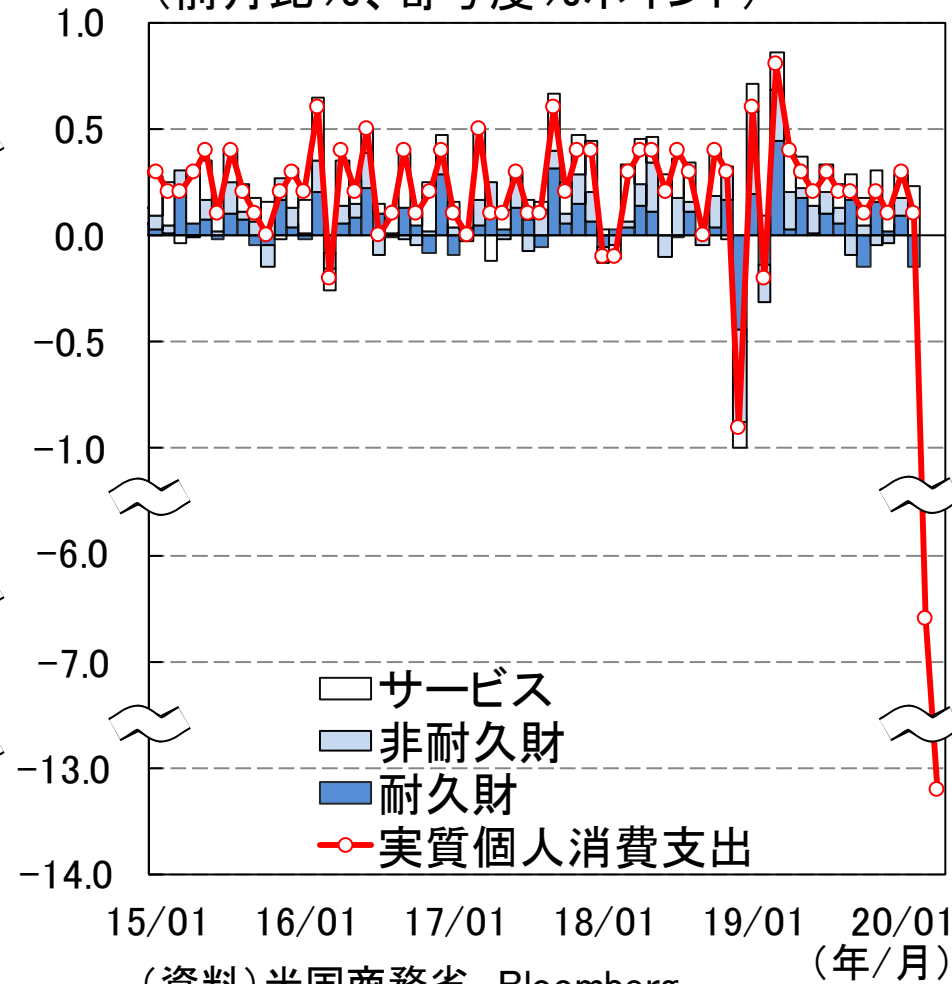
経済活動一部再開に伴い、雇用者数減少に歯止め
個人消費は減少が続く

(千人) 非農業部門雇用者数(前月差)



(資料) 米国労働省、Bloomberg

実質個人消費支出(前月比)
(前月比%、寄与度%ポイント)



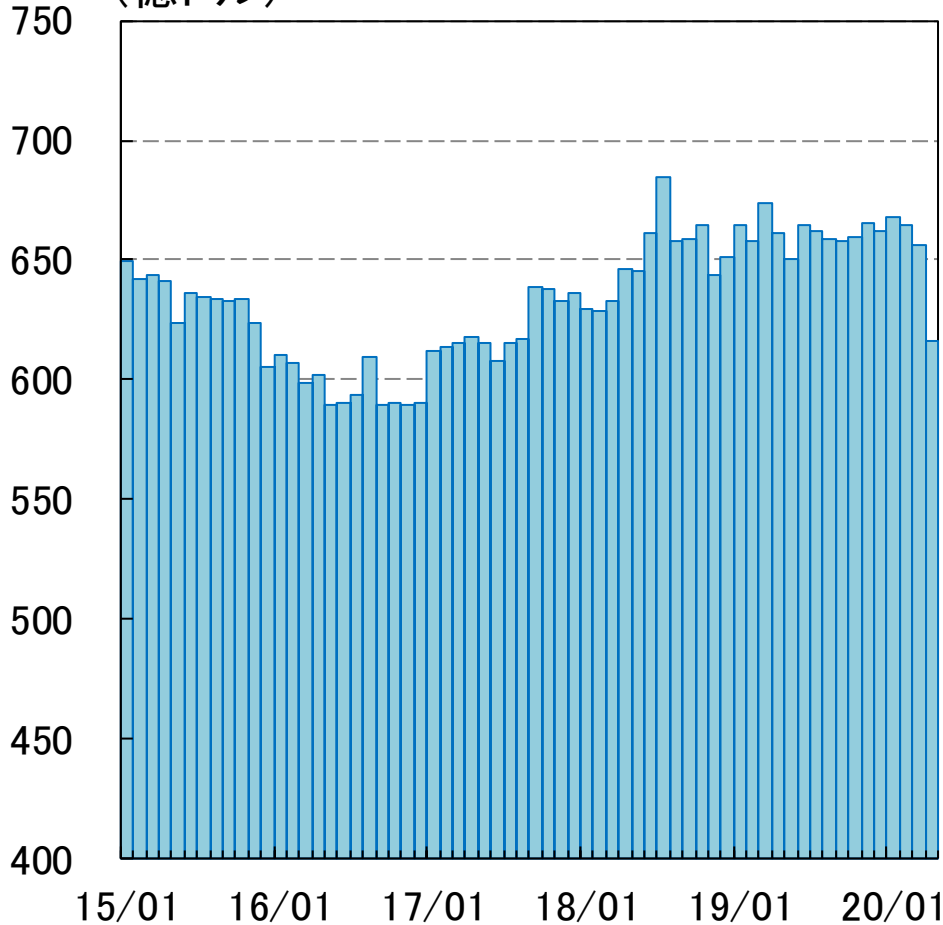
(資料) 米国商務省、Bloomberg

注) 20/03~20/05については、数値の振れ幅大きいため内訳表記を省略

資本財受注・生産ともに感染症の影響により減少

非国防資本財(除く航空機)受注

(億ドル)



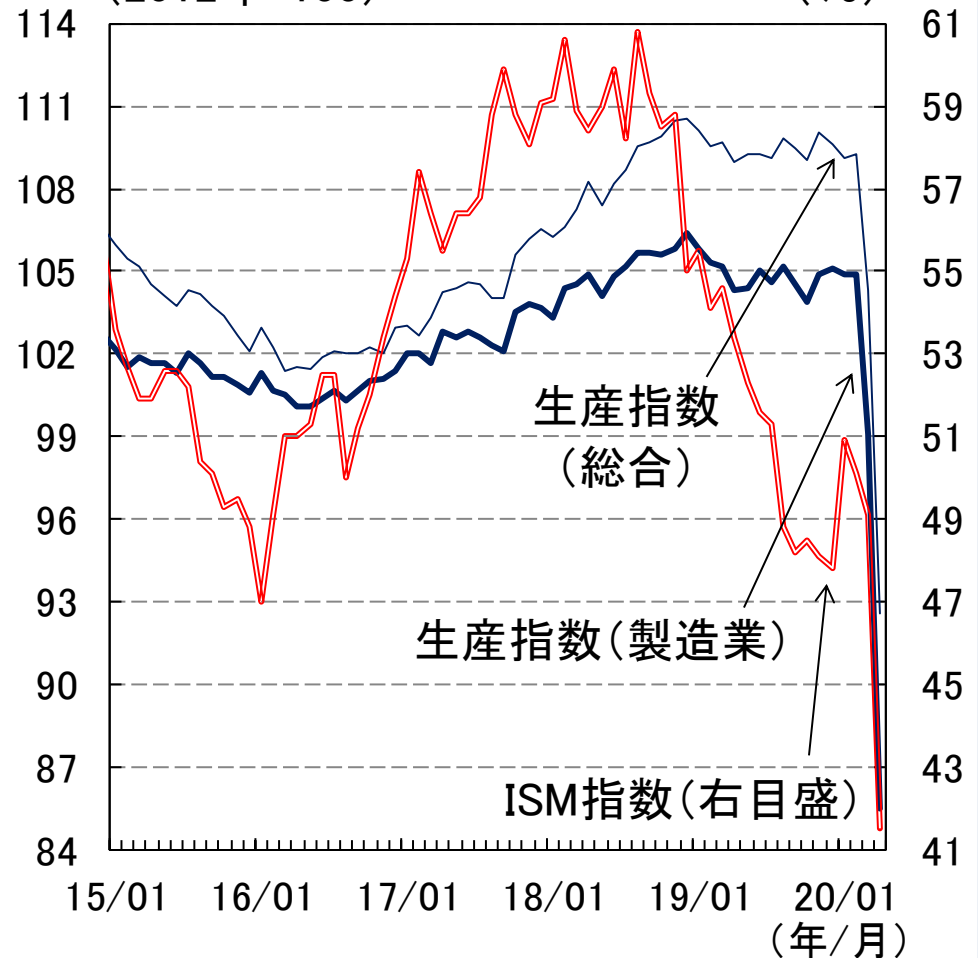
(資料) 米国商務省、Bloomberg

(年/月)

生産指数とISM指数

(2012年=100)

(%)

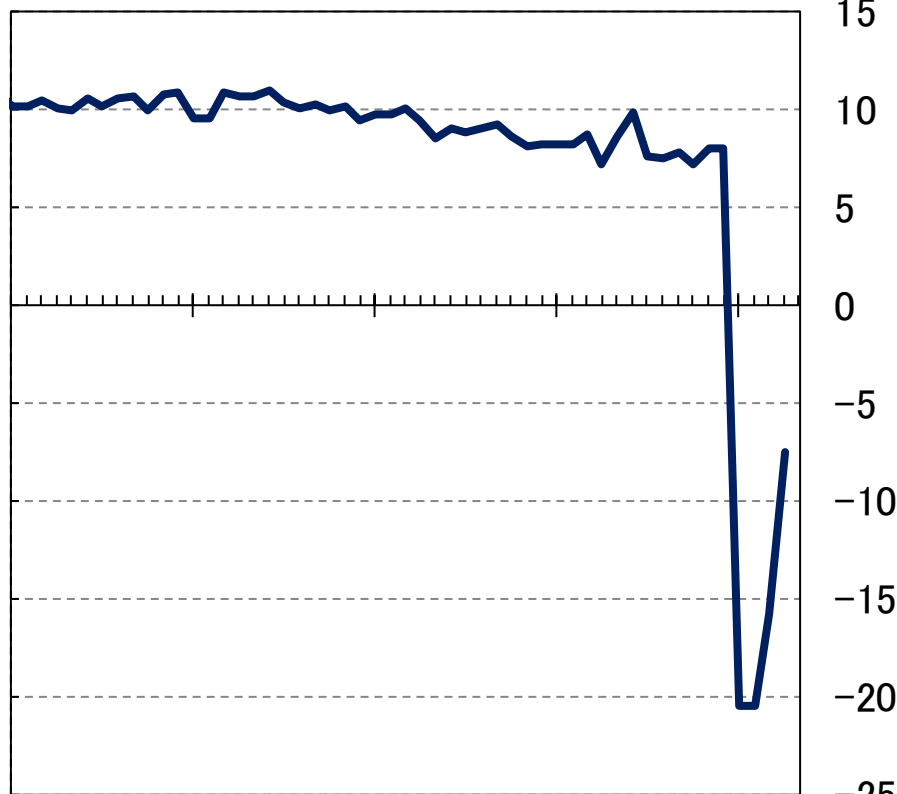


(資料) FRB、ISM、Bloomberg

消費は下げ幅縮小も、依然回復の道半ば
 消費者物価指数（総合）は足元伸び率の縮小が続く

消費財小売総額(名目、前年比)

(%)



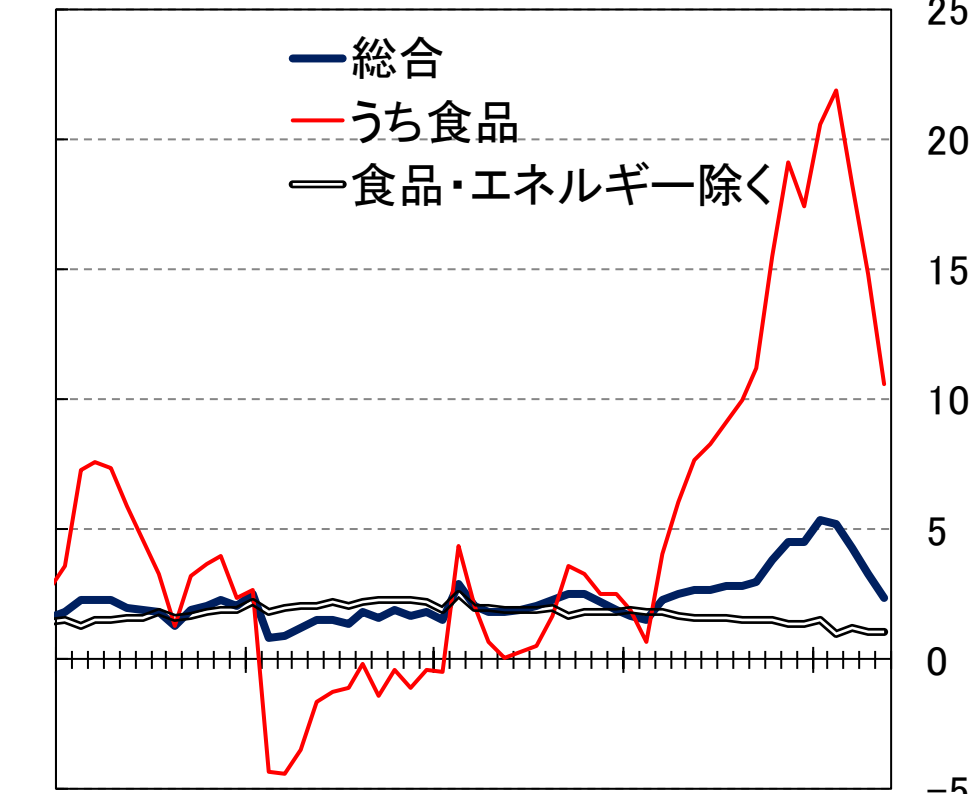
16/01 17/01 18/01 19/01 20/01
 (年/月)

(注) 1、2月は単月計数未公表につき
 1-2月累計前年比を記載。

(資料) Bloomberg、中国国家統計局

消費者物価指数(前年比)

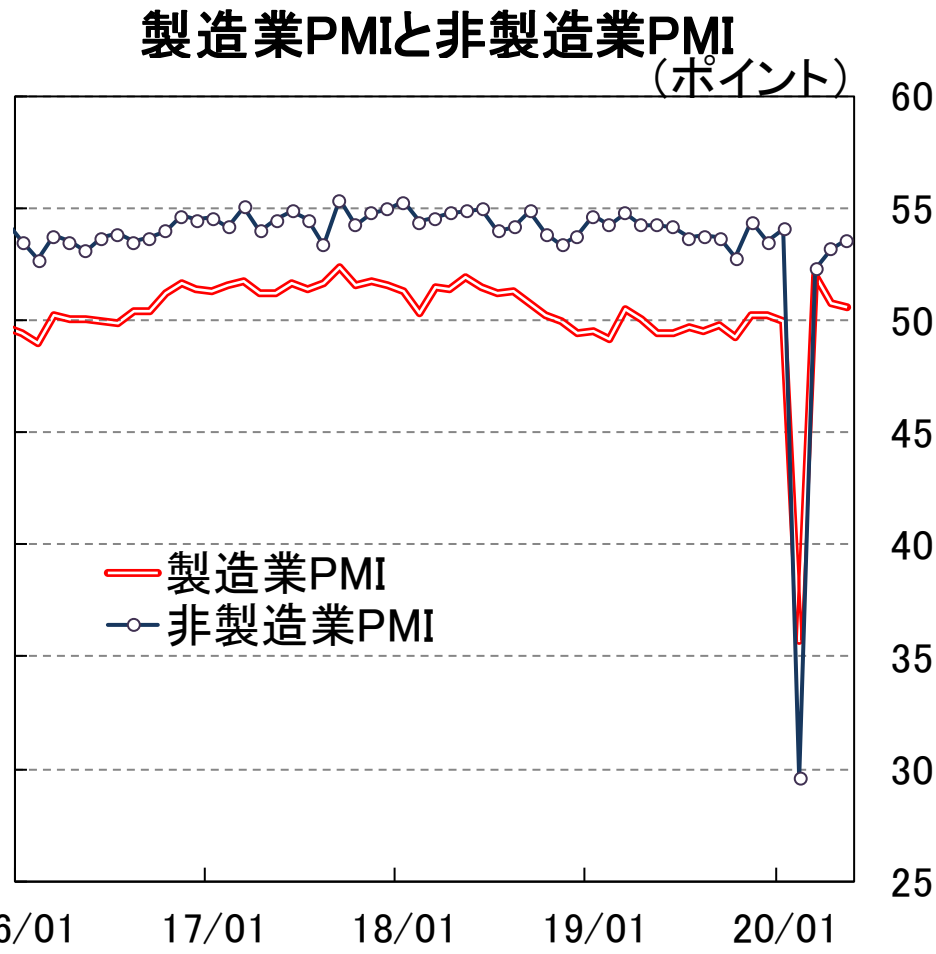
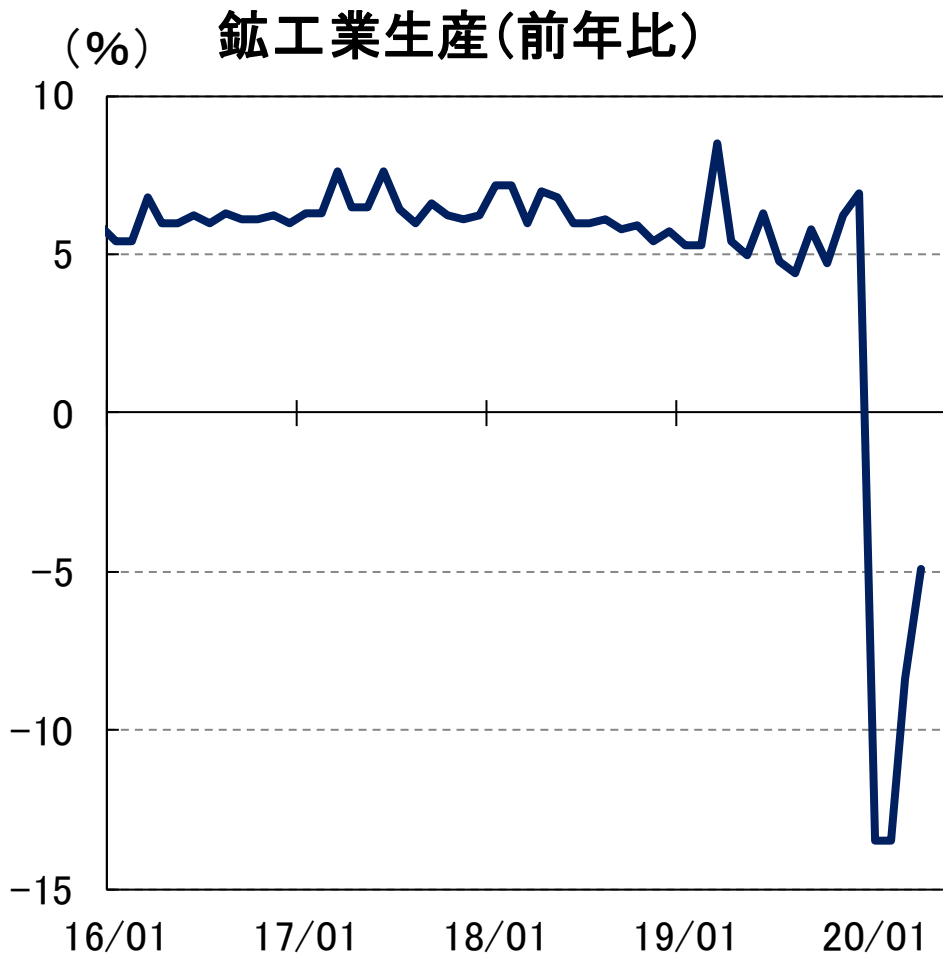
(%)



16/01 17/01 18/01 19/01 20/01
 (年/月)

(資料) Bloomberg、中国国家統計局

経済活動の正常化進展に伴い、鋳工業生産は下げ幅縮小
 景況感は製造業・非製造業ともに改善基調

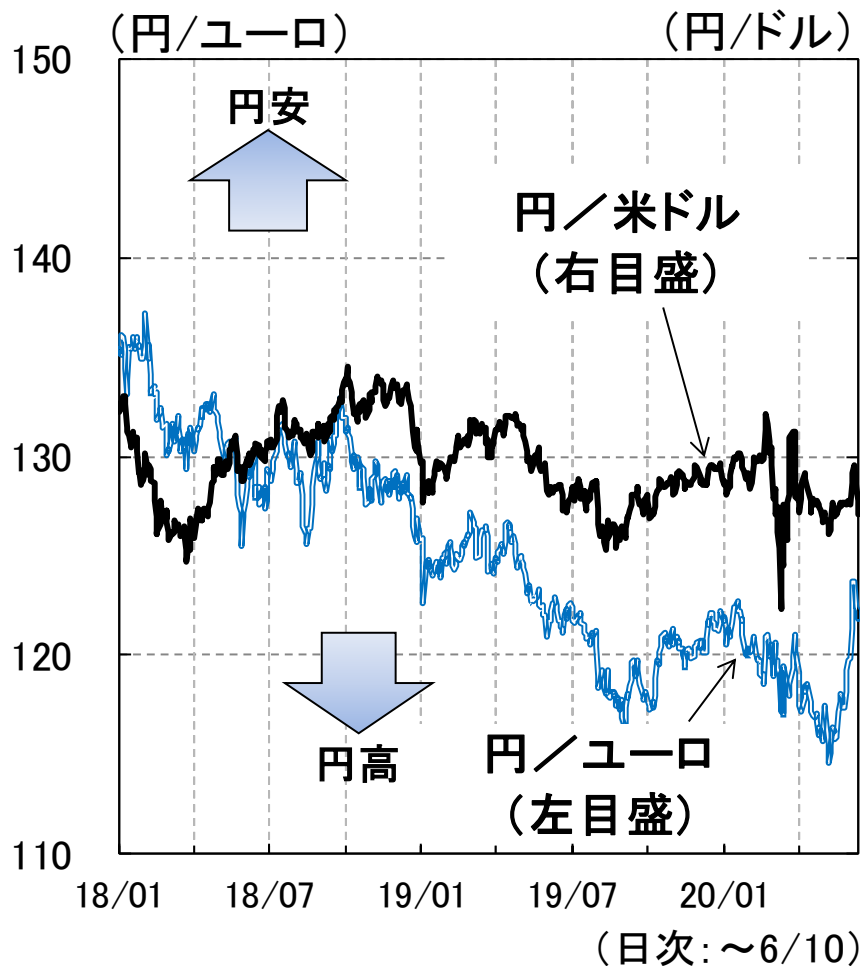


(注) 鋳工業生産の毎年1月、2月とも単月数値は (年/月) 未公表のため、1-2月累計値の前年比を記載。
 (資料) Bloomberg、中国国家统计局

(資料) Bloomberg、中国国家统计局

株価は、経済活動の段階的な再開への期待を受け持ち直し。
 為替は円高に歯止め。

為替相場の推移



(資料) Bloomberg

日米株価の推移

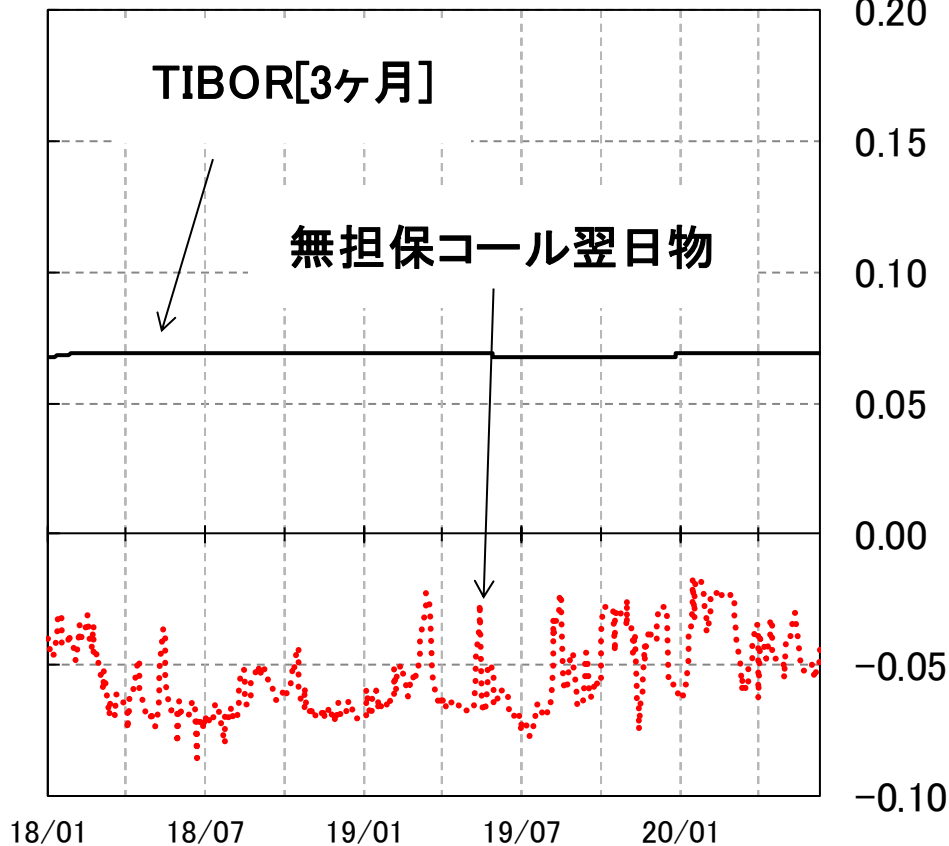


(資料) Bloomberg

長期金利は小幅上昇。各国中銀の金融緩和が続くも、経済活動再開期待の高まりを受けた動き。

国内短期金利の推移

(%)

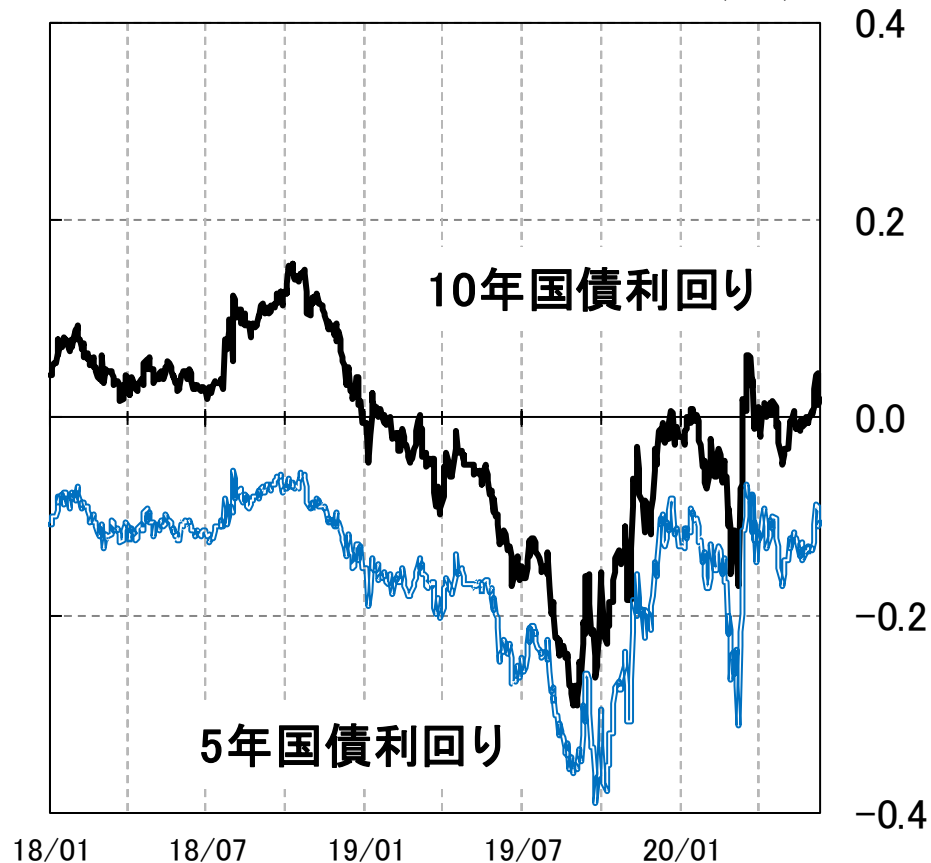


(日次: ~6/10)

(資料) Bloomberg

国内長期金利の推移

(%)

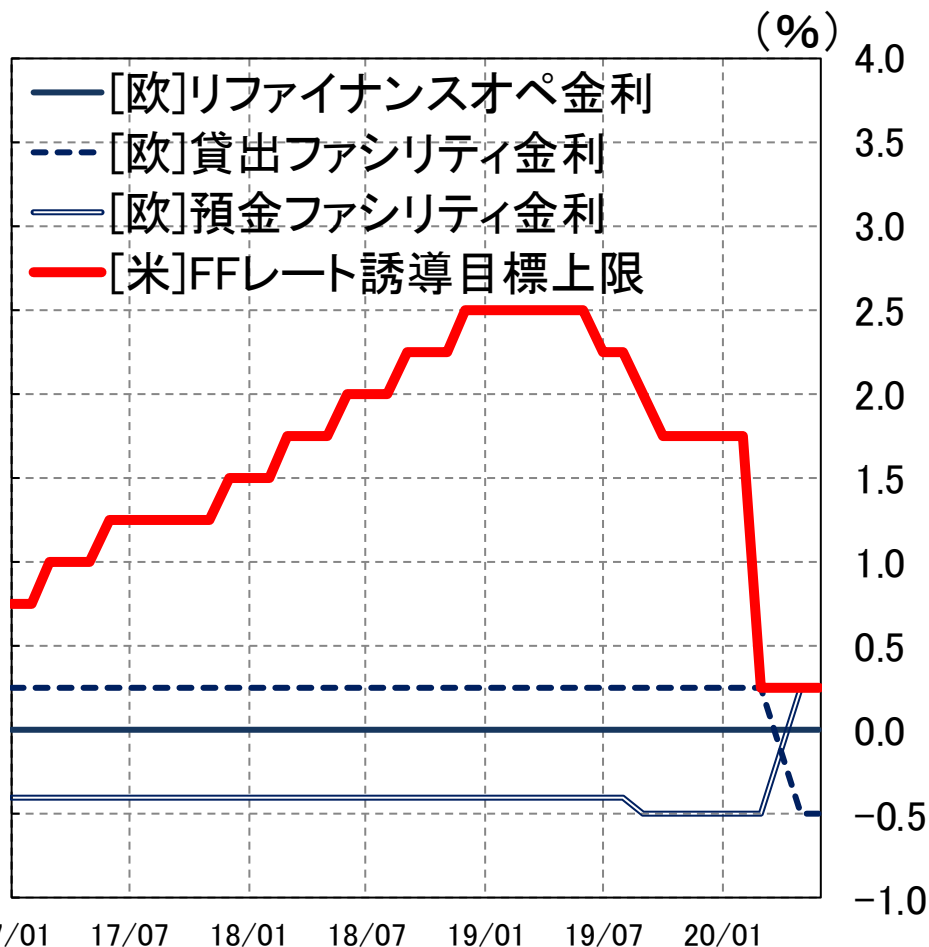


(資料) Bloomberg

(日次: ~6/10)

欧米ともに金融緩和を継続。原油価格は、先進国を中心とした経済活動の再開によるエネルギー需要の回復を受け上昇。

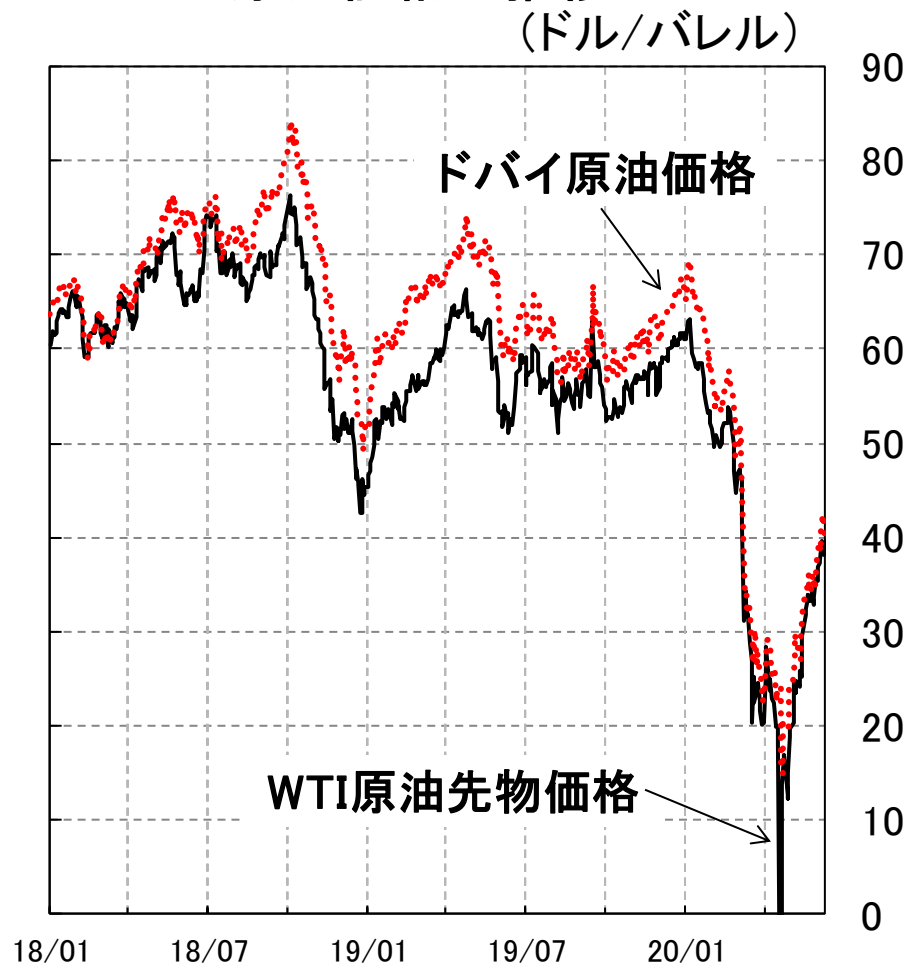
欧米政策金利の推移



(資料) Bloomberg

(月次: ~20年5月)

原油価格の推移



(資料) Bloomberg

(日次: ~6/10)